

**拡張機能リリースのお知らせ**

～SSCV-Safetyに「遠隔点呼機能」を追加。輸送事業者の業務効率化を強力にサポート～

安全運行管理ソリューション SSCV®-Safety は、2024 年の 4 月にリリースされた「IT 点呼機能」に続き、2025 年 1 月 19 日に「遠隔点呼機能」をリリースいたしました。これにより、事業所の「優良性」水準に関わらず、遠隔地にある拠点間での点呼を行うことが可能となります。すでに「予測する」を導入いただいているユーザーは自動的に機能が追加され、ご利用いただくことが可能です。

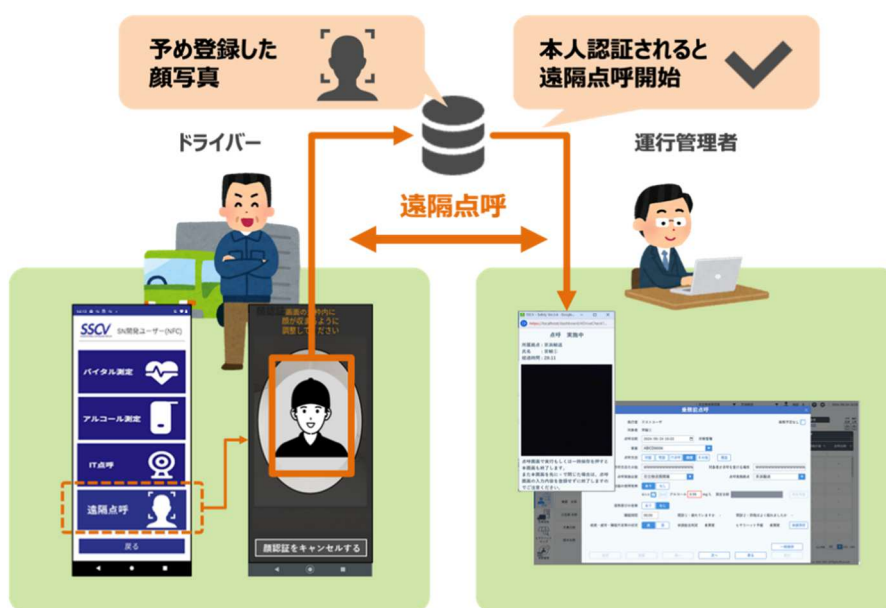
1.SSCV-Safety「遠隔点呼機能」の特長

- ・国土交通省が定めた遠隔点呼に必要なシステム要件となる「生体認証」や「運転者台帳の閲覧」ができ、「デジタル運転者台帳」を使うことで各ドライバーに自動紐づけされ、点呼画面で容易に閲覧できる
- ・アルコールチェッカーと連携し、呼気アルコール濃度と測定中の写真がクラウドに自動記録できる
- ・SSCV-Safety の既存機能「デジタル日常点検」と連携し、点呼画面から簡単に点検内容の確認、承認ができる
- ・SSCV-Safety「予測する」機能で取得した、客観的な体調情報もとに点呼ができる
- ・労務管理機能を利用することで出退勤情報や拘束時間を加味した点呼ができる
- ・事前に実施したい点呼予定をシステム上で登録することで、遠隔点呼に関する業務を簡易化できる

【画面イメージおよび各種機能説明】

顔認証機能

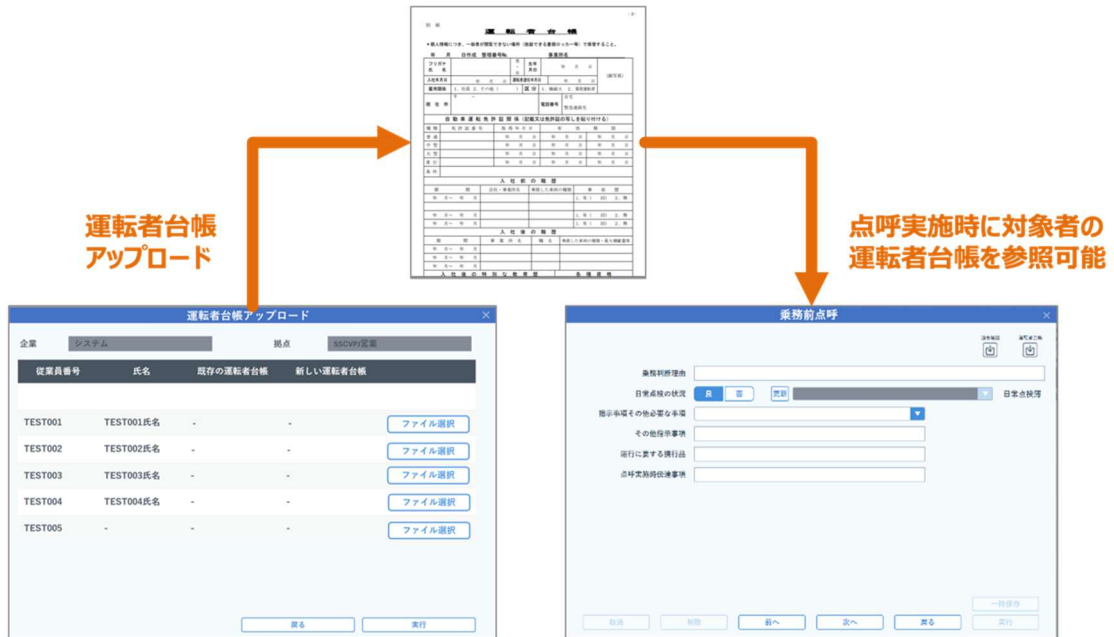
- ・ドライバーは専用のスマートフォンアプリからの遠隔点呼が可能に
- ・予め登録した顔写真をもとにカメラで生体認証されると、遠隔点呼が開始される



※画像はイメージです

## 運転者台帳の登録および参照機能

- ・運転者台帳の PDF ファイルを、クラウド上にアップロードして管理できる
- ・点呼実施の際、対象者の運転者台帳のファイルを参照することができる



※画像はイメージです

その他、遠隔点呼を行う企業・拠点の組み合わせと、運輸支局に認可された日の登録が可能になります。

## 2. 導入効果

- ・ドライバーの健康状態を把握しながら点呼ができ、事故リスクを予測することができる
- ・点呼業務全体を省力化でき、各所で行われる点呼記録をクラウドで一元管理できるため、業務効率化と法令遵守が図れる
- ・点呼できる範囲が広がるため運行管理者の負荷が軽減され、働き方の改善が進む
- ・SSCV-Safety の既存機能とともに活用することで、更なる安全管理業務の DX を推進できる

**詳細資料は以下の URL からダウンロードできます。**

<https://www.logisteed.com/jp/logisteed-cafe/download/sscv-safety/2369/>

SSCV-Safety は、「すべての運ぶに安全を」をスローガンに、ドライバーの安全を支え、安全に関わる全ての業務の改善を後押しします。今後も事故ゼロ社会の実現をめざし、サービスの改善・改良に努めてまいります。



<SSCVとは>

「輸送を支える。社会を良くする。」

SSCV-Smart、SSCV-Safety、SSCV-Vehicle の3つのソリューションで構成される、当社が提供する「物流企業の視点+テクノロジーの力」を活用した輸送課題を解決する輸送デジタルプラットフォームです。

<本件に関するお問い合わせ先>

ロジステッド株式会社

DXソリューション開発本部 サプライチェーンイノベーション部 SSCV推進グループ

sscv-safety\_inquiry@logisteed.com